

令和8年度第1回戸田市都市再生協議会

北戸田駅周辺ウォークアブル歩道整備について

令和8年8月17日

戸田市 都市整備部 まちづくり区画整理室

社会実験から得られた成果と課題、設計への反映

- 社会実験では、北戸田まちづくりラボ会議での意見を踏まえたイベントやファニチャーの配置を試行し、アンケート調査やAIカメラの検証結果から駅周辺の整備に向けた要望や需要を把握することができた。
- 社会実験の2つの目的に対し、それぞれの成果・課題を取りまとめ、設計に反映する事項について記載した。

設計への反映		
- 照度と空間の豊かさを確保しつつ、防犯性に優れた照明を設置する。（ボラード照明、ポール照明等） 滞在・通行者数の増加につながる効果的なファニチャー等を設置する。 - 周辺用地の活用を検討しながら植栽の配置も工夫し、利用者の滞留・キッチンカーなど地域イベントの展開が可能なスペースを確保		
	協議会意見	市の対応状況
①	地元の方々の意見をお聞きし、計画に反映することで、愛着のあるウォーカブルな空間を形成することが必要。	改めて、芦原町会や北戸田まちづくりラボのメンバーに設計図書（案）を示し、ご意見を伺った。設計内容については概ね同意を得たところである。
②	地域のつながりを広げるウォーカブルな空間とすることが望ましい。 例えば、地元参加の花植え付けや水やり等、草花を通じた地域交流ができる設えの花壇等を設けてみては。	芦原町会に花植え等の意向を確認したところ、花壇整備は歓迎であり、協力の意向を頂いた。
③	駅前の賑わいには、出張出店可能なキッチンカーのスペース等を整備して頂きたい。	人が集いそうな箇所にキッチンカースペースを確保し、100V電源も近くに設けた。

イメージ計画平面図(今回)

S=1/600 (A3)



段差のついたデッキで、滞留出来て休憩できる場所を創出。



ソヨゴ(常緑樹・中木) 5~6月開花 小さい白い花



百日紅(サルズベリ・落葉樹・中木) 7~10月開花 赤い花

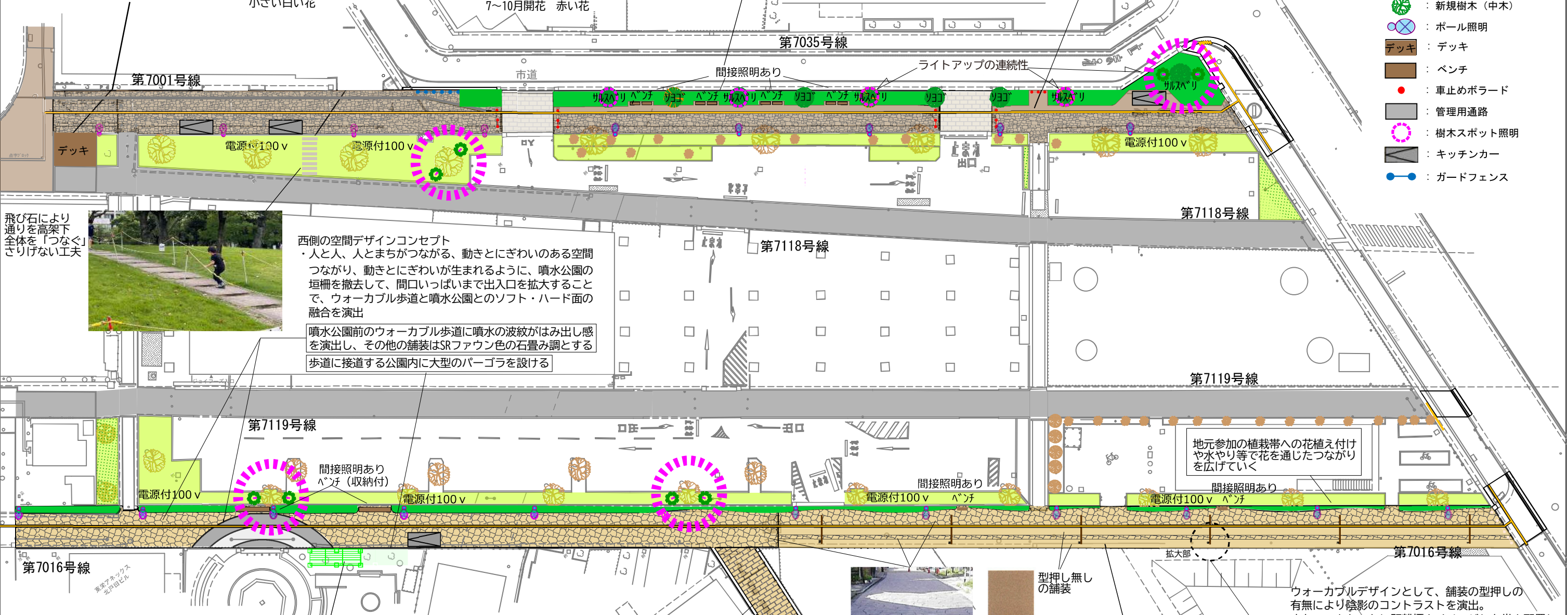


プライベート空間を踏まえたベンチ。東西共に、ベンチでは夜間の演出を行う。



東側の空間デザインコンセプト
・緑に包まれ、ひと息つける、やさしく落ち着いた空間
舗装色の2色と型押しの有無のコントラストで、憩い空間と歩行空間を演出
憩いのベンチの足元は型押しのないSRファウン色で舗装
歩きたくなる歩行空間には、石が小さい石畳み調の型押し舗装

- 凡例
- 型押し舗装
 - 型押し舗装
 - 型押し舗装
 - 型押し舗装
 - ブロック系舗装
 - 平板舗装
 - 既設天然芝
 - 新規樹木(低木)
 - 既存樹木(低・中・高木)
 - 新規樹木(中木)
 - ポール照明
 - デッキ
 - ベンチ
 - 車止めボラード
 - 管理用通路
 - 樹木スポット照明
 - キッチンカー
 - ガードフェンス



飛び石により通りを高架下全体を「つなぐ」さりげない工夫

西側の空間デザインコンセプト
・人と人、人とまちがつながる、動きとにぎわいのある空間
つながり、動きとにぎわいが生まれるように、噴水公園の垣柵を撤去して、間口いっぱいまで出入口を拡大することで、ウォーカブル歩道と噴水公園とのソフト・ハード面の融合を演出
噴水公園前のウォーカブル歩道に噴水の波紋がはみ出し感を演出し、その他の舗装はSRファウン色の石畳み調とする
歩道に接道する公園内に大型のパーゴラを設ける

地元参加の植栽帯へ花植え付けや水やり等で花を通じたつながりを広げていく



・噴水公園内に、パーゴラとベンチを道路側に向けて設置(ベンチ間接照明あり)



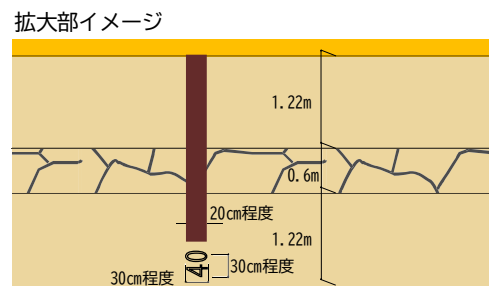
東側 舗装デザインのイメージ(レンガ調) ※施工時のSRファウン色



東側 舗装デザインのイメージ(石が大きいタイプの石畳み調)

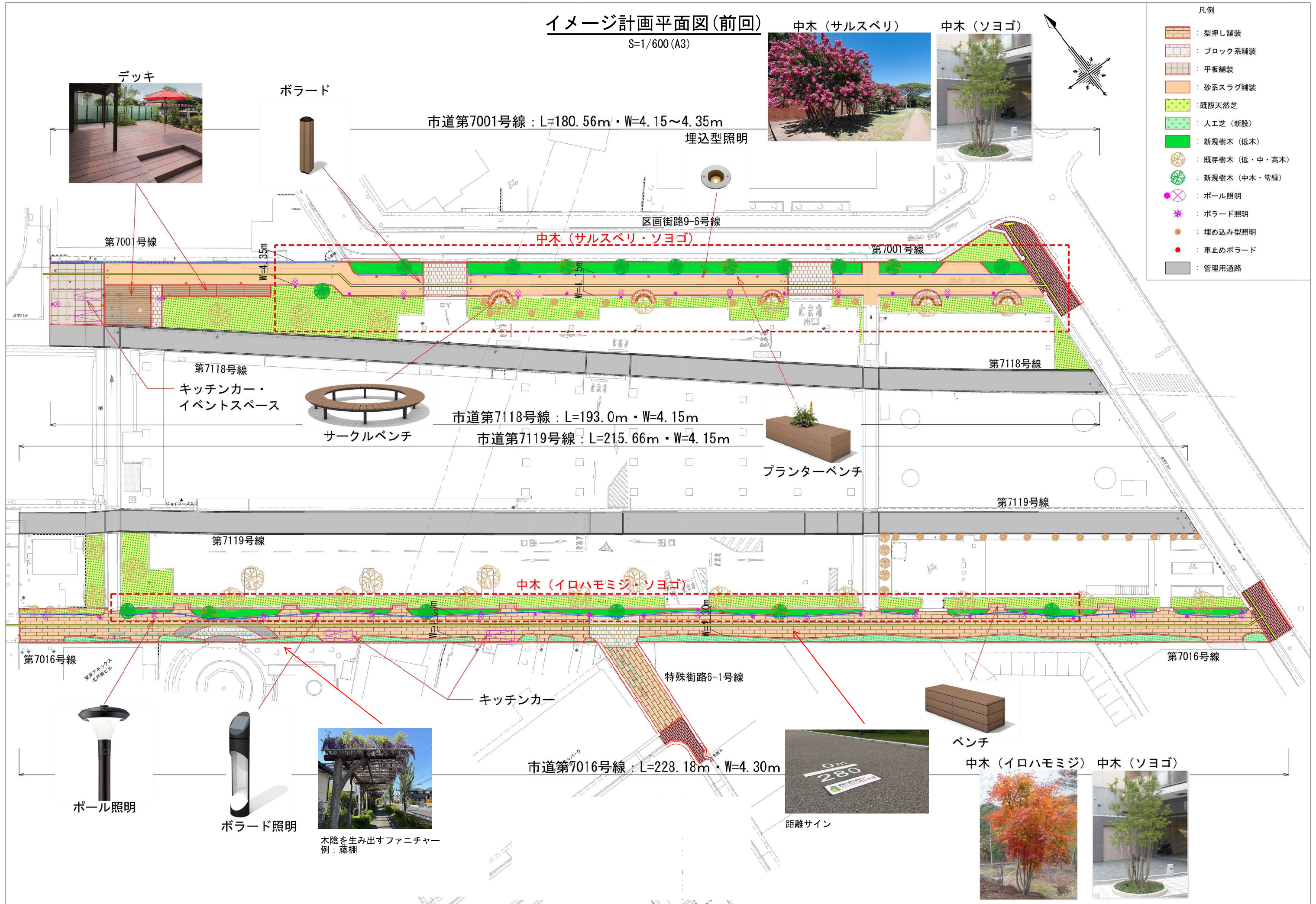
型押し無しの舗装
SRファウン色とする

ウォーカブルデザインとして、舗装の型押しの有無により陰影のコントラストを演出。また、アクセントに距離標をイメージした帯を配置し、平坦な路面に視覚的な変化を持たせる。



イメージ計画平面図(前回)

S=1/600 (A3)



整備予定新旧対照表

項目	場所	前回	今回	備考
休憩施設	西	ベンチ（環境空間内）	ライン照明付きベンチ・収納ベンチ （歩行者道路内）	J R東日本との協議の結果、環境空間部分の利用は出来ないこととなった。（土地の所有権の問題が発生する。）そのため、今回整備予定の歩道空間内にベンチを設置することとした。 なお、ベンチには足元を照らす間接照明機能付きのものを設置するとともに、全4か所のうち2か所については、収納機能を備え付ける予定である。
	西	木陰を生み出すファニチャー（藤だな） （噴水公園内）	パーゴラ+ライン照明付きベンチ （噴水公園内）	噴水公園内にパーゴラが設置されていたが、老朽化に伴い令和8年1月に撤去した経過がある。 その点を踏まえ、ウォーカブル歩道と接する噴水公園部分について、みどり公園課と調整を行い、市民が利用し易い環境整備に向けて公園入口部分の竹垣を撤去し、パーゴラを再整備する予定である。
	東	サークルベンチ・プランターベンチ （環境空間内）	ライン照明付きベンチ （歩行者道路内）	滞在性・回遊性の向上を目指し、今回設置を予定しているベンチについては、間接照明機能を有したライン照明を整備する予定である。 なお、こちらについても、環境空間部分の利用は出来ないため、当初予定していたサークルベンチの設置は見送ることとした。
	東	デッキ	デッキ	環境空間部分は利用できないため、当初予定していたデッキの整備面積を縮小し、整備する予定である。
照明施設	東西	メイン照明（ポール照明）	ポール照明（一部コンセント付き）	駅前交通広場からの連続性を鑑み、歩道の平均照度は駅前相当の明るさを確保する。 なお、イベント実施時の電源問題を解消するために、西側に4か所、東側に3か所、道路照明灯から電源供給できるよう整備する予定である。
	東西	間接照明（ボラード照明・埋込型照明）	間接照明（ライン照明付きベンチ・ 樹木用スポットライト）	当初、ボラード型や埋込型照明を予定していたが、維持管理上の問題を抱えている点を踏まえ、樹木用スポット照明やベンチへのライン照明にて整備する予定である。
舗装	東西	型押し舗装（ストリートプリント）	型押し舗装（ストリートプリント）	移動・滞在空間として、北戸田の景観を楽しめる道路空間の創出に向け、石畳調のデザインを演出できる「型押し舗装（ストリートプリント）」にて整備する予定である。
	西	距離標（サイン）	型押し舗装（ストリートプリント）	まちなかウォーカブルは、健康増進にも寄与する取り組みであることから、ウォーキング利用の推進に向けて、距離標を整備する予定である。
	東	砂系スラグ舗装	型押し舗装（ストリートプリント）	当初、砂系スラグ舗装を予定していたが、維持管理上の問題をクリアするため、バリエーションが豊富な「型押し舗装（ストリートプリント）」に変更し、整備する予定である。
植栽	西	中木（イロハモミジ、ソヨゴ）	被覆性植物（コニファー類）・花壇	環境空間部分の利用は出来ないこと、地元町会の意向確認したところ、花壇整備は歓迎であり、協力の意向も持っていることを確認した。そのことから、ウォーカブル歩道内に花壇を整備する予定である。
	西	人工芝	なし	当初、人工芝を用いることを予定していたが、ウォーカブル歩道の有効幅員をできる確保することを目指し、採用を見送ることとした。
	東	中木（サルスベリ、ソヨゴ）	中木（サルスベリ、ソヨゴ）	四季の変化や若干離れた場所からもウォーカブルな空間を感じられるよう、常緑樹と夏に開花する樹種を組み合わせ整備する予定である。 また、冬季の期間、地域の方々の協力によるLEDイルミネーションが演出できるよう、樹木配置を工夫する。
その他	西	地域イベント	地域イベント（噴水公園との一体化）	ウォーカブル歩道と接する噴水公園の公園間口を広げ、開放感を感じやすい空間の創出に向け、部分改修を行う予定である。
	東	滞留・キッチンカー	滞留・キッチンカー	駅前広場隣接の既存樹木を移植し、駅前から見えるキッチンカースペースを歩行者道路に整備することで、東口駅前広場と交わる賑わい空間を創出。